

東北工業大学大学院・ライフデザイン学研究科デザイン工学専攻
2012年度 大学院特別セミナーのご案内

デザイン街に出る - Design with People -

東北工業大学大学院・ライフデザイン学研究科デザイン工学専攻では、この度、情報デザイン分野で活躍をされている岡本 誠先生（はこだて未来大学教授）をお呼びして、特別セミナーを開催することになりました。コトを生み出す新しいデザインプロセスは、市民との共同の中で構築する必要があるという視点に立ち、街を舞台に、参加型デザインの実験を積極的に仕掛けております。デザイン関係の学生、企業はもちろんのこと、福祉、行政、建築関係の方々及び一般市民の方々にご参加頂きますよう、ご案内申し上げます。

日時：平成 25 年 3 月 4 日（月） 13時30分～16時

場所：東北工業大学長町キャンパス 4号館 R421教室

テーマ：「デザイン街に出る—Design with People」

講師：岡本 誠氏（はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科教授 学科長）

<講演概要>

これまでのデザインプロセスは、モノ（実体）を生む仕掛けでしたが、コトを生み出す新しいデザインプロセスは、市民との協働の中で構築する必要があると思います。

セミナーでは、「視覚障がい者のコミュニケーション」をテーマにし、ツールを提案します。大切にしたことは、学生と視覚障がい者が協働してデザインすることです。そのためにいくつかの仕掛けを考案しました。「シナリオ」、「見習い体験」、「暗闇ランチ」、「触れるプロトタイプと物語」、「暗闇展覧会」などの仕掛けは、ユーザとの共感の環境を作れたようです。

他にも「路面電車のサービスデザイン」、視覚障がい者が外界の物体の形態や距離を理解するインタラクティブシステム、「漁業者の情報生活デザイン」などをご紹介します。いずれも、現場で生活者と一緒に考えることが必要です。「共感」は、生活者とデザイナーの距離を縮め有用な情報を得る相互作用を生み出し、プロトタイプは生活者とデザイナーが協創する環境を提供してくれます。

街はデザインの学校と言えます。街の生活はデザインの対象（コト）そのものです。デザイナーは、生活者と協働してアイデアを育てる方法を考案しなければなりません。それは同時にデザインとは何かを理解することにもなります。デザイナーには新しい役割が求められており、街を舞台にこれからもデザインの実験を仕掛ける計画です。

<講師プロフィール>

1986年3月筑波大学大学院芸術研究科修了, 1986年4月富士通株式会社総合デザイン研究所入社, 2000年4月公立ほこだて未来大学システム情報科学部教授として着任. 参加型デザインに関わる手法やツールの研究, 人間の知覚能力を拡張するユーザインタラクション研究 (Future Body, Perception Design), 海洋情報のユーザインタフェースや経験デザイン, 動的地球地図等を研究中. 日本デザイン学会会員, ヒューマンインタフェース学会会員, 人間中心設計機構会員等.



<参加料：無料>

<申し込み>

参加者の氏名、所属、連絡先を明記の上、下記宛、電話、FAX、E-mailのいずれかで、3月1日(金)までにお申し込み下さい。

東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科

梨原 宏

Tel 022-304-5577 Fax 022-304 5561

E-mail:nasihara@tohtech.ac.jp

なお、東北工業大学長町キャンパスは、現在4号館とその周辺を整備中ですので、お車でいらっしゃる時は、正門の受付に申し出て、駐車場の指示をお受けください。

